

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

• •

| | |
|-----------------|--|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別 | 事故 |
| 2. 体験した事例の名称 | 破壊していない開口部が、突然吹き飛ぶ！ |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 酸素供給による爆発的燃焼 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 燃焼建物全ての開口部が閉まっている時、1箇所の開口部を破壊することによって、別の開口部が吹き飛ぶことがある。 |

【体験した事例の直接的原因について】

• •

| | |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

【体験した事例について】

• •

| | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 発生日時 | 平成 63 年 0 月 0 日 午前 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 晴 |
| 3. 発生した活動現場 | 屋内：建物通路 |
| 4. 体験した事例の種類 | |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度） | |
| 6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか) | 爆発・破裂、 |
| 7. 事例体験時の活動 | 火災現場活動初期、 [木造建物] |
| 8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか | 破壊活動、 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した。 |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|----------------------|--|
| ○当事者A | 年齢[20]歳、 勤続年数[2]年、 現場経験年数[2]年、 階級[消防士]、 同様の活動[初めて]、 任務[隊員] |
| ○当事者B | 年齢[35]歳、 勤続年数[17]年、 現場経験年数[17]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動[初めて]、 任務[隊員] |
| ○当事者C | 年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動[]、 任務[] |
| その他 (当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|------|-------|-------------------|----------|
| 経過1 | 当事者A | 2階ベランダのガラス戸を破壊した。 | |
| 経過2 | 当事者B | 1階勝手口の扉が吹き飛んだ。 | |
| 経過3 | | | |
| 経過4 | | | |
| 経過5 | | | |
| 経過6 | | | |
| 経過7 | | | |
| 経過8 | | | |
| 経過9 | | | |
| 経過10 | | | |

【その事例発生時の状況について】

• •

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

その他 : 負傷はせず、ヒヤリとした事案である。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | はい |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | はい |

d. 心身の不調があった。

| | |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。 | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。 | いいえ |
| ・野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・足元が躊躇したり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい |
| ・隊員が不足していた。 | いいえ |

○その他

l. その他の理由があつた。

| |
|-----|
| いいえ |
|-----|

【事故発生後の取り組みについて】

・・・・・・・・・・・・・・・・

○注意力欠如、焦り等の対策について

組織として職員全員への教養を行い。再発防止に努めた。
個人として認識し、新人隊員に伝えていく。

○装備・資機材の対策について

軒下の活動禁止は知っていたが、開口部付近での活動時には、呼吸器面体着装、しころ、フェイスシールドを有効に活用する。

○活動環境の対策について

特になし。

○指揮・情報伝達の対策について

他に影響する 1 隊の活動は、全ての隊員に伝達する。

木造瓦葺モルタル塗2階建住宅1棟1戸

